

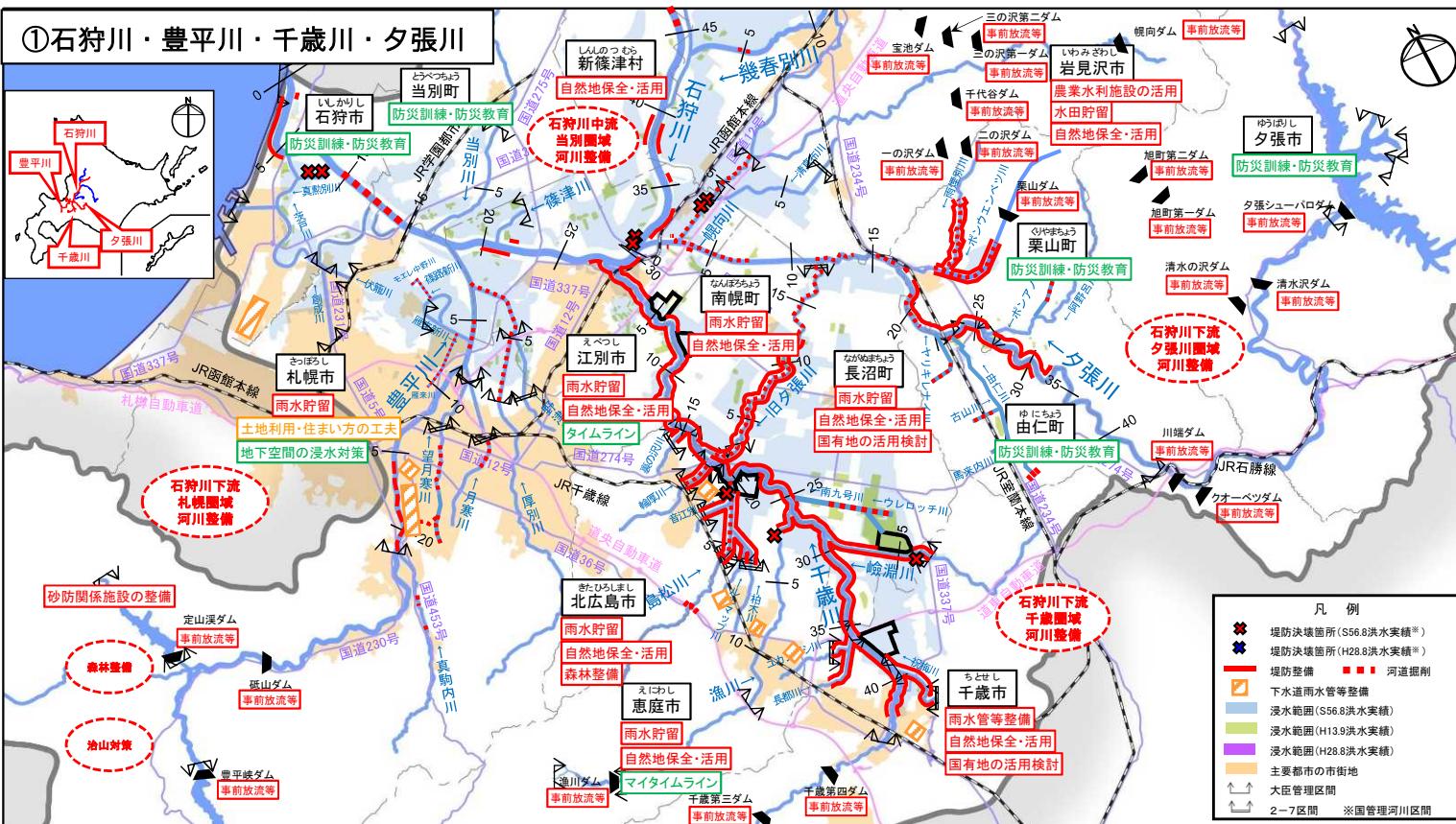
石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

【1/4】

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、社会、経済、文化の基盤である石狩川流域においても事前防災対策を進める必要があり、国管理区間においては、石狩川等の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和56年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。

①石狩川・豊平川・千歳川・夕張川



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、雨竜川ダム再生事業、堤防強化、冬季出水に備えた排水機場の無水化、放水路整備等
- ・利水ダム等58ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- ・下水道雨水管等の整備
- ・雨水貯留浸透施設の整備（校庭貯留、調整池の整備等）
- ・旧川や公園・緑地等の保全・活用
- ・自然遊水機能をする国有地の活用検討
- ・農業水利施設の活用
- ・水田の貯留機能向上
- ・土砂災害対策（砂防関係施設の整備）
- ・治山対策
- ・森林整備（間伐・植樹等）等



下水道雨水管等の整備
（千歳市ほか）



雨水貯留浸透施設の整備
（札幌市、千歳市、恵庭市、北広島市、江別市、長沼町、南幌町ほか）



調整池の整備



旧川や公園・緑地等の保全・活用
（千歳市、恵庭市、北広島市、江別市、長沼町、南幌町ほか）



公園整備・保全

■グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

■被害対象を減少させるための対策

- ・水災害のリスクに応じた土地利用・住まい方の工夫
- ・まちづくりや防災等の地域計画と一体となった河川防災ステーション等の整備
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討



水害リスクに応じた土地利用・住まい方の工夫（札幌市）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・地下空間の浸水対策
- ・災害に強い庁舎の整備
- ・多面的な防災情報の発信
- ・市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動
- ・国・北海道・市が連携した各種タイムラインの普及促進
- ・緊急排水作業の準備計画策定
- ・水災害リスク空白域の解消に向けた取組
- ・ハザードマップの周知および住民の水災害リスクに対する理解促進の取組
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・防災気象情報の利活用促進等



地下空間への流入防止の対策
（札幌市ほか）



1日防災学校の実施（石狩市ほか）



自然遊水機能を有する国有地の活用検討

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

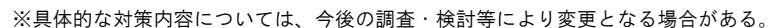
[2/4]



[3/4]

- ・水災害のリスクに応じた土地利用・住まい方の工夫、
- ・まちづくりや防災等の地域計画と一体となった河川防災ステーション等の整備
- ・まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討

[4/4]



石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

●石狩川では、上流部・中流部・下流部の流域全体を俯瞰的にとらえ、地域の産業と住民の安心・安全確保に向けた対応を推進する。特に、北海道における社会・経済・文化の基盤である「石狩川流域」の特徴を踏まえて、河道掘削や堤防整備等に加えて、流水の貯留機能拡大（利水ダム等における事前放流の実施、体制構築）、流域の雨水貯留機能の向上（校庭貯留、調整池、雨水管の整備等）、タイムラインの活用等、国・北海道・流域市町村が一丸となり、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】流域内の人口・資産が集中する下流部等での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削・堤防整備等を推進。

【中期】中流・下流部等の河道掘削・堤防整備等を推進するとともに、治水安全度の向上に大きく寄与する抜本的な治水対策として、遊水地やダムの整備を推進。

【中長期】上流部の河道掘削・堤防整備等の推進により、流域内全体の安全度向上を図る。

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

■事業規模（※石狩川水系全体）

○河川対策
全体事業費 約6,173億円
対策内容 河道掘削、堤防整備、北村遊水地整備、幾春別川総合開発事業、雨竜川ダム再生事業、堤防強化、放水路整備等

○砂防対策
全体事業費 約777億円
対策内容 砂防関係施設の設備等

○下水対策
全体事業費 約93億円
対策内容 下水道雨水管等の整備等

※1：国・北海道・札幌市の河川整備計画の残事業を記載
※2：国・北海道の砂防事業の残事業費を記載
※3：各市における下水道事業計画の残事業費（雨水関連）を記載

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流域内の人口・資産を守るための河道掘削・堤防整備等	札幌開発建設部、北海道、札幌市	石狩川下流部、豊平川 等		
			石狩川中流部、千歳川 等		
			石狩川上流部、雨竜川 等		
	治水安全度の向上に大きく寄与する抜本的な治水対策の重点実施（北村遊水地、幾春別川総合開発、雨竜川ダム再生）	札幌開発建設部			
	流域内の浸水被害防止・軽減のための利水ダム等58ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	札幌開発建設部、北海道、市町村、電力会社、土地改良区など			
	浸水被害の軽減を図り市街地を守る下水道雨水管等の整備	市町村			
	河川への雨水流出の抑制や内水被害軽減のための雨水貯留浸透施設の整備、旧川や公園・緑地などの保全・活用	市町村			
	河川への雨水流出の抑制や内水被害軽減のための遊水機能を有する国有地の活用検討	札幌開発建設部、市町村			
	湛水被害の軽減に貢献する食料安定生産のための農業施設整備等	札幌開発建設部、旭川開発建設部、北海道、市町村			
	市街地等を土砂・洪水氾濫から守る砂防関係施設の整備	札幌開発建設部、北海道			
被害対象を減少させるための対策	水災害のリスクに応じた土地利用・住まいの工夫	札幌市			
	まちづくりや防災等の地域計画と一体となった河川防災ステーション等の整備	札幌開発建設部、市町村			
	まちづくりでの活用を視野にした多段的な浸水リスク情報の検討	札幌開発建設部			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害を軽減させる取り組みの推進	札幌開発建設部、気象台、北海道市町村			
	早期復旧・復興のための対策	札幌開発建設部、北海道、市町村			
グリーンインフラの取り組み	湿原環境の再生	札幌開発建設部、南幌町 等			
	大型水鳥等の採餌場、休憩地等の生息・生育環境（湿地）創出	札幌開発建設部、長沼町 等			
	砂川地区かわまちづくり	札幌開発建設部、砂川市			
	恵庭地区かわまちづくり	札幌開発建設部、恵庭市			
	当別川かわまちづくり	北海道、当別町			
	利根別川かわまちづくり	北海道、岩見沢市			
	雨煙別川かわまちづくり	北海道、栗山町			

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

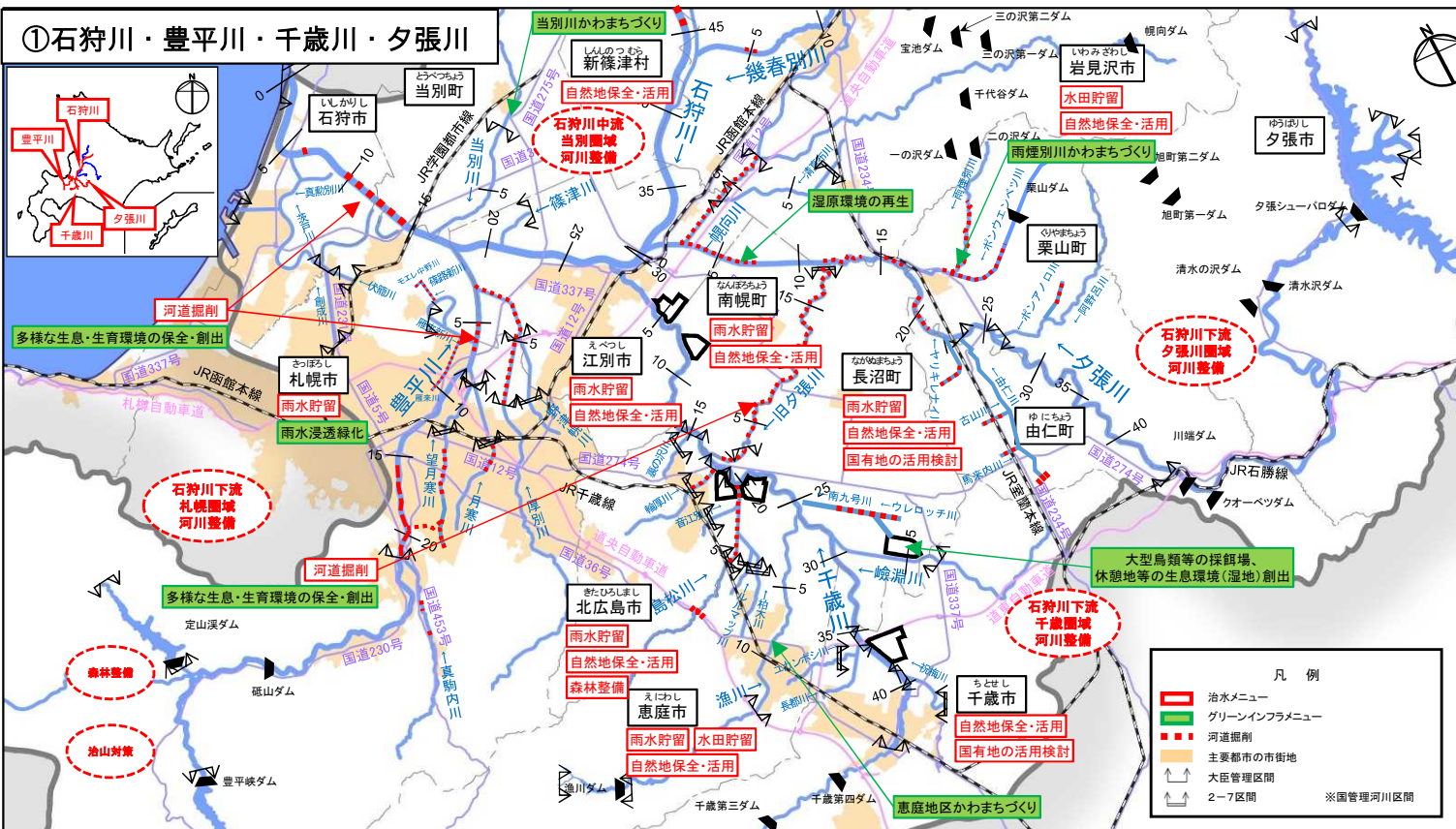
～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

〔1/4〕

●グリーンインフラの取り組み 『石狩川とその流域の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための湿地・樹林環境の保全・再生』

○石狩川下流流域には、ラムサール条約の登録湿地である宮島沼を始め大小の旧川及び後背湖沼が残されており、これらは、北海道中央フライウェイと呼ばれる渡り鳥のルート上に位置しているとともに、石狩川本支川とあわせて豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在している。
○石狩川の河道は昭和30年代に概成し、この頃には流域の特徴である湿原等の自然環境もある程度残されていたことから、昭和30年代の自然環境規模を目標に、中期目標として概ね20年間で生物の生息生育環境の拠点となる湿地・樹林環境を保全・再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。

①石狩川・豊平川・千歳川・夕張川



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（詳細省略）

■被害対象を減少させるための対策（詳細省略）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（詳細省略）

●自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復
・湿原環境の再生、雨水浸透緑化

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
・大型鳥類等の採餌場、休憩地等の生息・生育環境（湿地）創出

●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出
・かわまちづくり（恵庭地区、砂川地区、当別川、利根別川、雨煙別川）
・水辺の賑わい空間創出

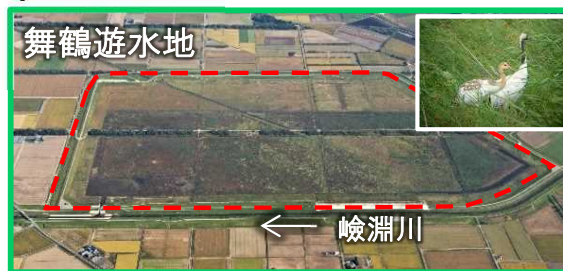
●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】

・生物の生息・生育環境として重要な旧川の保全・再生・利活用に向けた検討
・流域特性や土地利用、地域の歴史・文化等との調和を図った石狩川の景観の保全・形成
・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る『かわたびほっかいどう』の推進
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



湿性植物を育むポット（高層湿原）を中心とした湿原環境の再生（夕張川幌向地区）



大型鳥類等の採餌場、休憩地等の生息環境（湿地）創出



魅力ある水辺空間・賑わいの創出（漁川恵庭地区）



生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

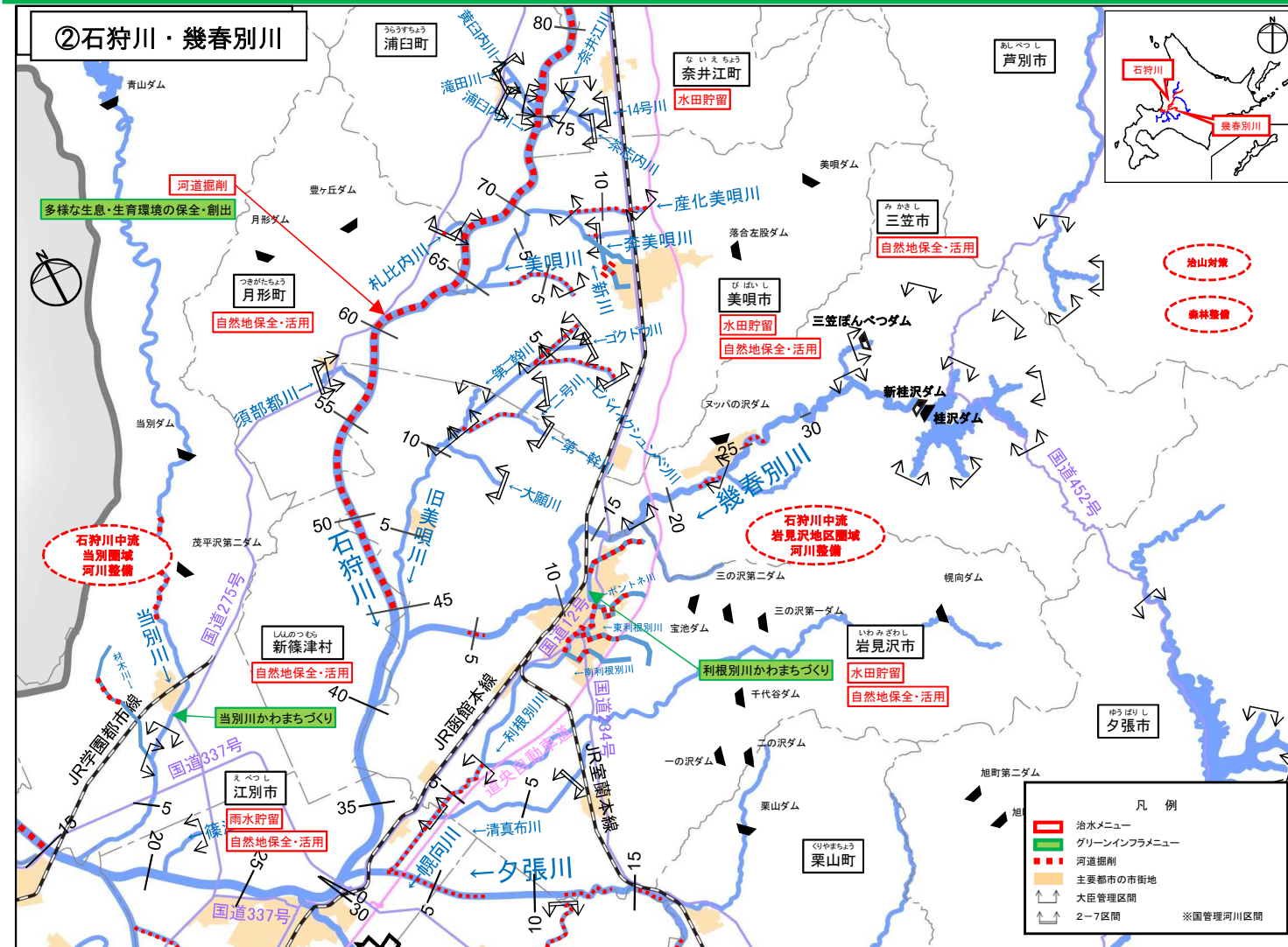
～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

【2/4】

●グリーンインフラの取り組み

『石狩川とその流域の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための湿地・樹林環境の保全・再生』

②石狩川・幾春別川



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（詳細省略）

■被害対象を減少させるための対策（詳細省略）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（詳細省略）

●自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復
・湿原環境の再生、雨水浸透緑化

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
・大型鳥類等の採餌場、休憩地等の生息・生育環境（湿地）創出

●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出 ・かわまちづくり
（恵庭地区、砂川地区、当別川、利根別川、雨煙別川）
・水辺の賑わい空間創出

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】

・生物の生息・生育環境として重要な旧川の保全・再生・利活用に向けた検討

・流域特性や土地利用、地域の歴史・文化等との調和を図った石狩川の景観の保全・形成

・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る『かわたびほっかいどう』の推進

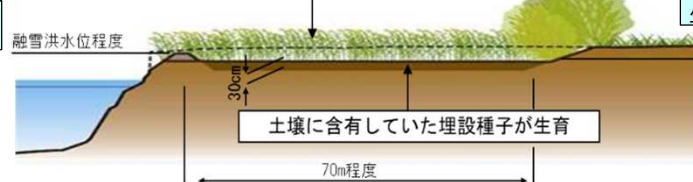
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

治水対策における多自然川づくりの例
（草地再生）

掘削箇所に融雪が湛水し、水面を形成

渡り鳥や草原性鳥類の生息場の創出



■ 施工翌年の春期に融雪水が湛水
■ 湛水後は植生が点在して生育

■ 植生が生育し始めて1ヶ月程度で、掘削箇所のほぼ全体を覆う状況まで回復

■ 順調に生育し、植生の密度も上昇

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

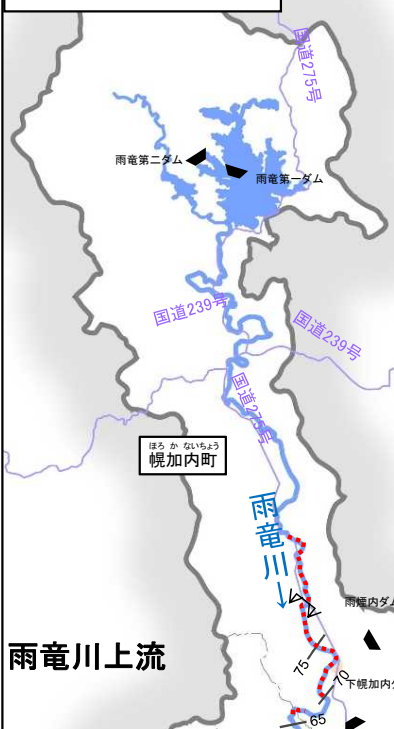
～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

[3/4]

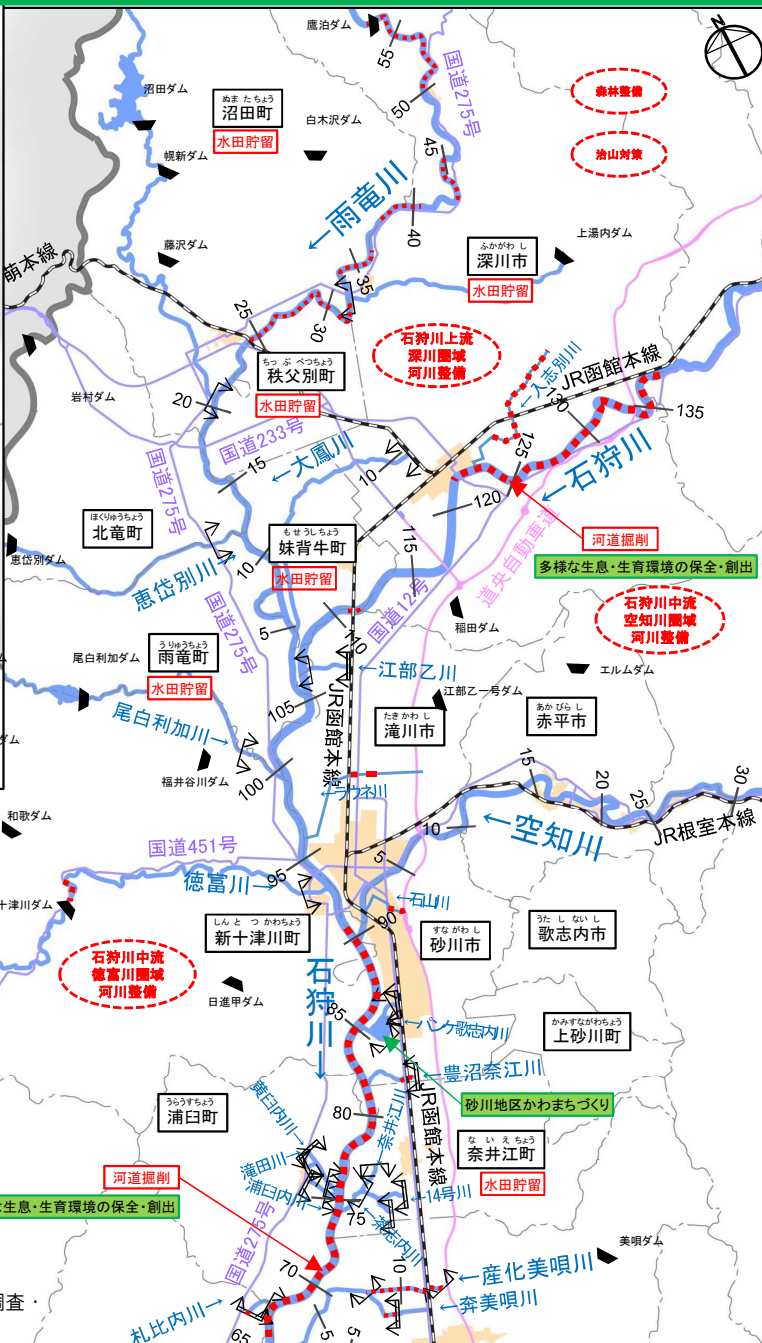
●グリーンインフラの取り組み

『石狩川とその流域の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための湿地・樹林環境の保全・再生』

③石狩川・雨竜川



雨竜川上流



■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（詳細省略）

■被害対象を減少させるための対策（詳細省略）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（詳細省略）

●自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復
・湿原環境の再生、雨水浸透緑化

●生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
・大型鳥類等の採餌場、休憩地等の生息・生育環境（湿地）創出

●治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出
・かわまちづくり（恵庭地区、砂川地区、当別川、利根別川、雨煙別川）
・水辺の賑わい空間創出

●自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小中学校などにおける河川環境学習

【全域に係る取組】

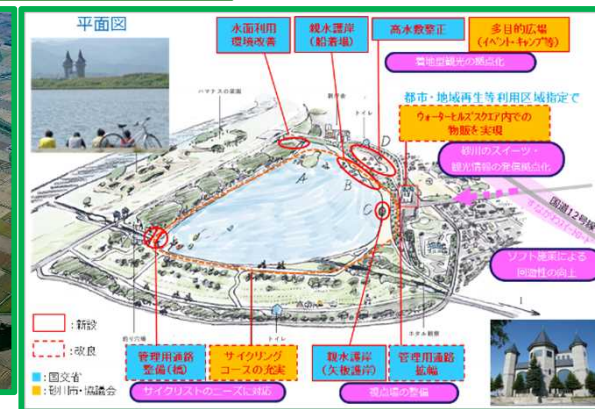
・生物の生息・生育環境として重要な旧川の保全・再生・利活用に向けた検討
・流域特性や土地利用、地域の歴史・文化等との調和を図った石狩川の景観の保全・形成
・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る『かわたびほっかいどう』の推進
・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



魅力ある水辺空間・賑わいの創出（砂川遊水地）



旧川や公園・緑地等の保全・活用（石狩川沿いの旧川群）



魅力ある水辺空間・賑わいの創出（砂川地区）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

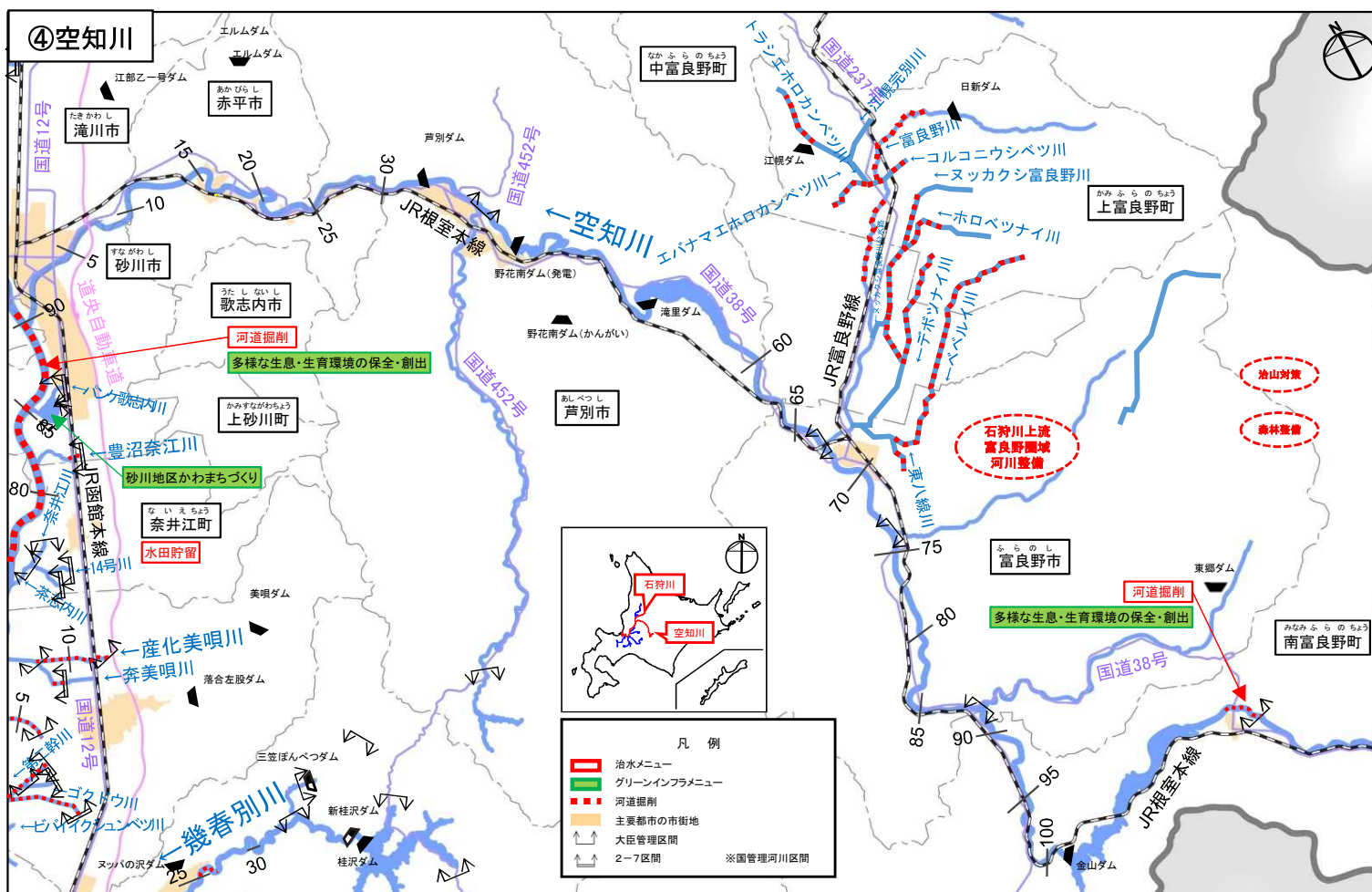
石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【位置図】

～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

[4/4]

●グリーンインフラの取り組み

『石狩川とその流域の豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための湿地・樹林環境の保全・再生』



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- ### ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 (詳細省略)

- 被害対象を減少させるための対策 (詳細省略)

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（詳細省略）

- 自然環境の保全・復元などの自然再生、健全な水循環系の回復
・湿原環境の再生、雨水浸透緑化

- 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成
- ・大型鳥類等の採餌場、休憩地等の生息・生育環境(湿地)創出

- 治水対策における多自然川づくり
・生物の多様な生息・生育環境の保全・創出

- 魅力ある水辺空間・賑わいの創出 ・かわまちづくり
(恵庭地区、砂川地区、当別川、利根別川、雨煙別川)
・水辺の賑わい空間創出

- 自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
・小中学校などにおける河川環境学習

- 【全域に係る取組】

- ・生物の生息・生育環境として重要な旧川の保全・再生・利活用に向けた検討
- ・流域特性や土地利用、地域の歴史・文化等との調和を図った石狩川の景観の保全・形成
- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る『かわたびほっかいどう』の推進
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



空知川の水辺利用



地域の歴史と空知川の露頭炭



かなやま湖(金山ダム)の水辺利用



河川環境学習(水生生物調査)



石狩川の景観保全と形成

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

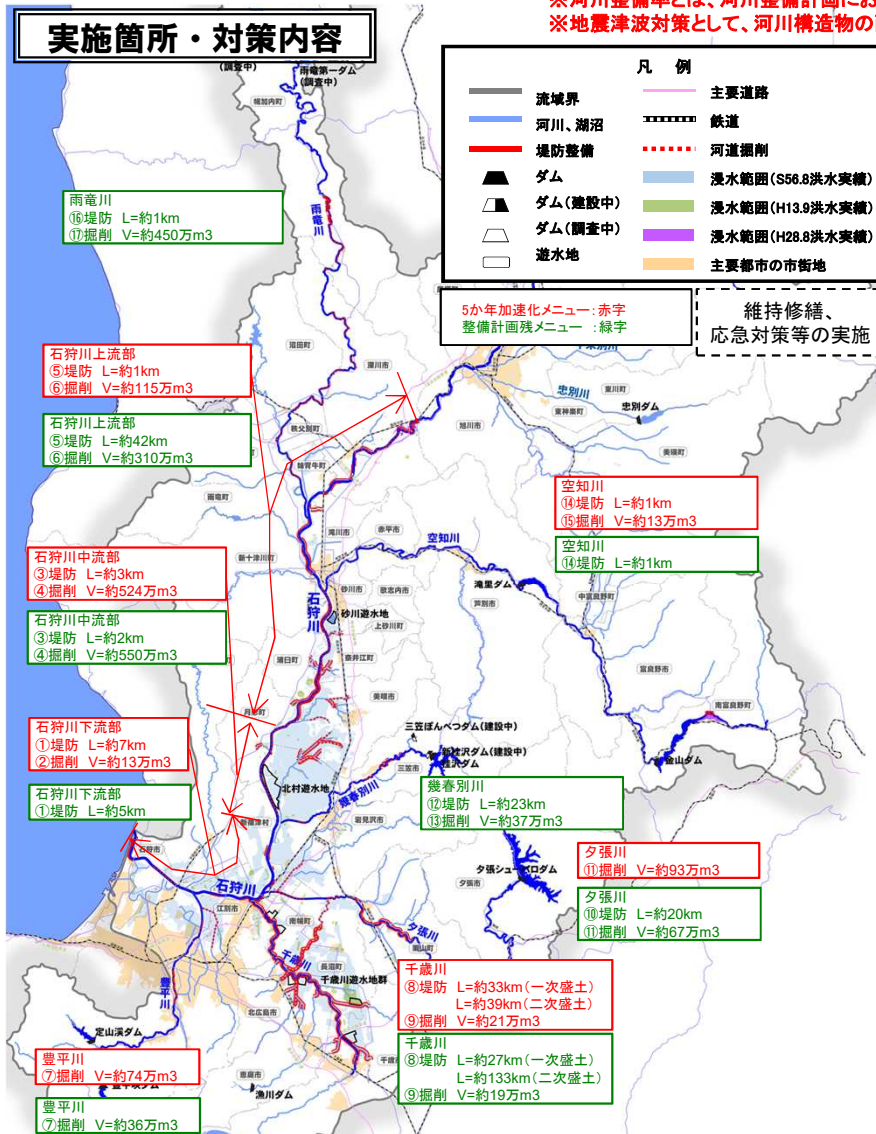
～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策の推進～

石狩川下流部の河道掘削・堤防整備、北村遊水地の整備等を推進することで、人口・資産が集中する下流域における、治水安全度の向上に寄与
うち、美登位地区の河道掘削がR3に完了に伴い、道都「札幌」を含む下流域における治水安全度が向上。
また、空知川幾寅地区の河道掘削がR7までに完了することで、幾寅市街地において整備計画目標流量をHWL以下で流下させることができ、市街地の浸水被害
解消が可能となる。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約49%→約51%

※河川整備率とは、河川整備計画において定めた河道整備流量を流すことが出来る断面を確保している国管理区間の割合
※地震津波対策として、河川構造物の耐震化、樋門の自動化、遠隔操作等を調査検討中

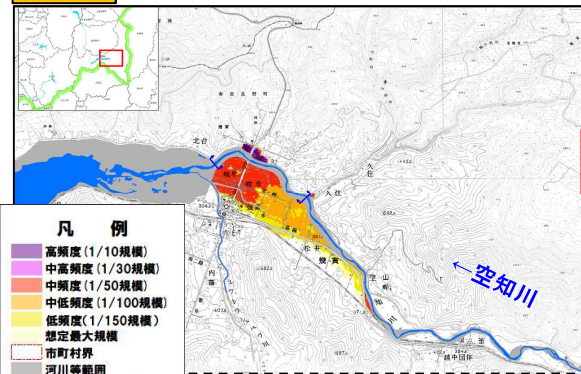
実施箇所・対策内容



※実施内容・数量については今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

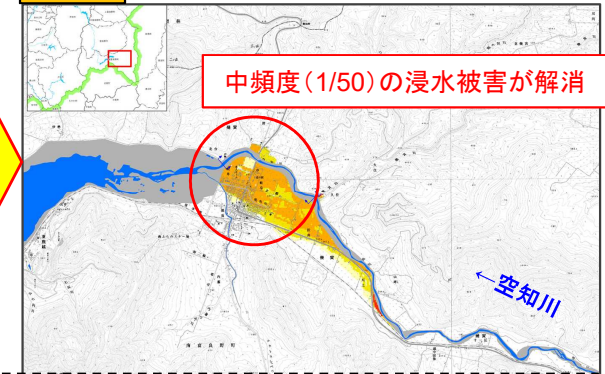
現在

※空知川幾寅地区の効果例。
※図示エリア外については効果精査中である。



短期

中頻度(1/50)の浸水被害が解消



区間	対策内容	工程		
		【5年加速化対策】 短期(R3～R7年度)	中期(R8～R12年度)	中長期(R13～R18年度)
石狩川	下流部 KP0～KP44	①堤防 ②掘削	100% 100%	100% 100%
	中流部 KP44～KP63	③堤防 ④掘削	100% 100%	100% 100%
	上流部 KP65～KP140	⑤堤防 ⑥掘削	100% 100%	100% 100%
	治水安全度の向上に大きく寄与する技術的な治水対策(北村遊水地)			
	豊平川	⑦掘削	100% 100%	100% 100%
	千歳川	⑧堤防(一次盛土) ⑨堤防(二次盛土) ⑩掘削	100% 100% 100%	100% 100% 100%
夕張川	⑪堤防	100%	100%	100%
	⑫堤防	100%	100%	100%
	⑬掘削	100%	100%	100%
幾春別川	⑭堤防	100%	100%	100%
	⑮堤防	100%	100%	100%
	⑯掘削	100%	100%	100%
空知川	⑰堤防	100%	100%	100%
	⑱掘削	100%	100%	100%
	⑲堤防	100%	100%	100%
雨竜川	⑳堤防	100%	100%	100%
	㉑掘削	100%	100%	100%
	㉒堤防	100%	100%	100%

【短期整備完了時の進捗】
[堤防]
・石狩川下流部 60%
・石狩川中上流部 10%
・其他支川部 25%
[掘削]
・石狩川下流部 100%
・石狩川中上流部 45%
・其他支川部 25%

北海道では全国でも特に
気候変動の影響が大きく、
更なる対策を推進

R4 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～北海道における社会、経済、文化の基盤「石狩川流域」を洪水から守るための治水対策を推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：51%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



28市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



48施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 59箇所
※うち、石狩川（下流）は49箇所
（令和4年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 3施設
（令和4年度完成分）
※施工中 5施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



3市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 297河川

※うち、石狩川（下流）は227河川
（令和4年9月末時点）

内浸水想定区域 1団体
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



洪水 2,097施設
避難確保計画 土砂 150施設
（令和4年9月末時点）

個別避難計画 19市町村
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○流出抑制対策の実施

大雨の際に一時的に雨水を貯め、洪水被害を防止・軽減を目的として、望月寒川流域及び伏籠川流域において4箇所の流域貯留施設整備を継続実施。



貯留施設の整備

雨水管の機能を増強する下水道工事の実施や、住宅建築等における浸透枘の設置指導を継続実施。



下水道雨水管の整備



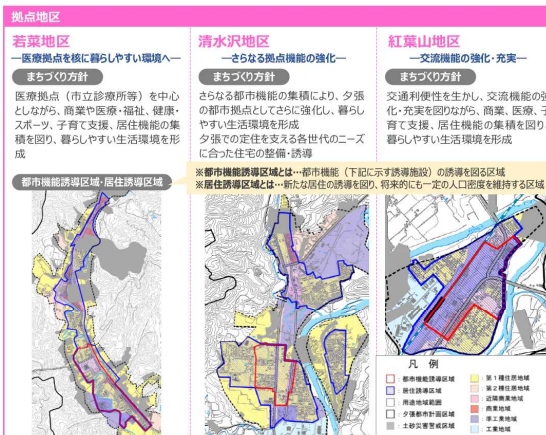
浸透枘の設置

被害対象を減少させるための対策

○立地適正化計画の作成

夕張市では市民一人ひとりが幸せに暮らし続けることができる都市の形成を目指し、市全体における居住機能や都市機能の立地誘導、交通の充実など、持続的でコンパクトなまちづくりを進めていくため、その指針となる「夕張市立地適正化計画」を令和3年策定し公表。

地区別方針／誘導区域・誘導施設・誘導方針の設定



- | 誘導施設 | 誘導施設 | 誘導施設 |
|--|--|--|
| ① 都市機能の集積・誘導
② 地域医療・介護・健康・コミュニティの拠点づくり
③ 多様な住宅の誘導・整備
④ スポーツ交流の促進
⑤ 安心できる地域福祉・地域交流の展開 | ① 都市機能の集積・誘導
② 多様な住宅の誘導・整備
③ 子育て支援体制の強化
④ 子どもたちの居場所づくり
⑤ 夕張の未来を創るプロジェクト
⑥ 清水沢地区内のネットワーク化・生活利便性の確保 | ① 都市機能の集積・誘導
② 多様な住宅の誘導・整備
③ 地区内外の交流を通じた交流人口の拡大
④ 安心できる地域福祉・地域交流の展開 |
- 【都市機能を維持・誘導】公共施設の多機能化・集約化 / 各種制度を活用した機能誘導
【居住を維持・誘導】多様なニーズに対応した民間賃貸住宅の誘導 / 住宅取得・リフォーム等支援による定住促進 / 情報発信強化による不動産の流動化促進 / 市営住宅等の既存ストックの活用 / 公共交通の利便性やサービスの向上

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

○水害リスク情報の提供

マイタイムラインの普及に向け、地域コミュニティ単位の検討会開催や、小学校の「一日防災学校」においてマイタイムラインを作成。



タイムラインの検討会



小学校での防災教育

○高齢者等の避難の実効性の確保

高齢者等の避難の実施構成を確保するため、高齢者に向け防災出前講座の実施や地域住民との避難所開設訓練を実施。



高齢者への出前講座



地域住民との避難所開設訓練